

2003年度

第9回くまもとアートポリス推進賞



kap



くまもとアートポリス
kumamoto artpolis

熊本県

第9回くまもとアートポリス推進賞の選考を終えて

選考委員長 堀内清治

本年度のくまもとアートポリス推進賞の募集に対しては、34件の応募があった。その審査にあたっては、例年通り、書類審査による第1次選考によって7件が選出され、10月25、26日の現地審査をへて、最終選考の結果、推進賞3件、同選賞1件が決定した。

今年の推進賞で話題になったのは、いくつかの住宅もさることながら、熊本保健科学大学と熊本市現代美術館であった。熊本保健科学大学は崇城大学から北に向かって広がる広い農地のなかにある2万坪弱の平坦な敷地に建てられた新しい大学で、これまでの大学とは全く違って直径132mの平屋建ての円形建物で、南西の隅に敷設されたアリーナ(体育館)だけがこのフラットな円形校舎からはみだしている。円形校舎の中は南北に走る4本のアヴェニューと、東西に通る4本のストリートで衛生技術科、看護学科のそれぞれの機能が区分され、譬えて言えば、一つのコミュニティ、或いは小さな町を構成するようなつくりになっている。これは現代の医療の諸問題を克服するために「分担する医療から連携する医療へ」という、大学当局の建学の志を建築的に翻訳する試みであろう。その志がやがて立派な成果を挙げられることをお祈りしたい。

熊本市現代美術館は周知のとおり、びぶれす熊日会館の中に設けられた美術館であって、これまでに「推進賞」を「建築賞」と考えてきた選

考委員会には、これを現地審査の候補の一つにすることに戸惑いがあった。然し、賞に値する建築とは、空き家の建築ではなく、生きて社会の為に役に立ち、人々から愛され続ける建築ではないかと考えれば、キュレーター南畠氏の業績は推進賞の候補として取り上げるに値する、という意見が委員会を制して、候補の一つに加えられたものであった。

熊本県のアートポリス事業の目的は、熊本の文化を高める為に、後世の文化的資産として残る良質の建築をつくることである。今の日本の建築の平均寿命はおよそ35年といわれているが、これでは、後世を語る資格は全くないし、やがて廃棄された建物の廃材処理にも行き詰まる時がくる。昔の建物は、たとえ民家でもその何倍も長生きしてきた。耐用年数は本来建物の価値に大きな関係をもつものだから、建物を造る時には、施主も設計者も施工者も、もう少しその建物の耐用年数を意識の中に入れるべきではなからうか。





くまもとアートポリス
推進賞

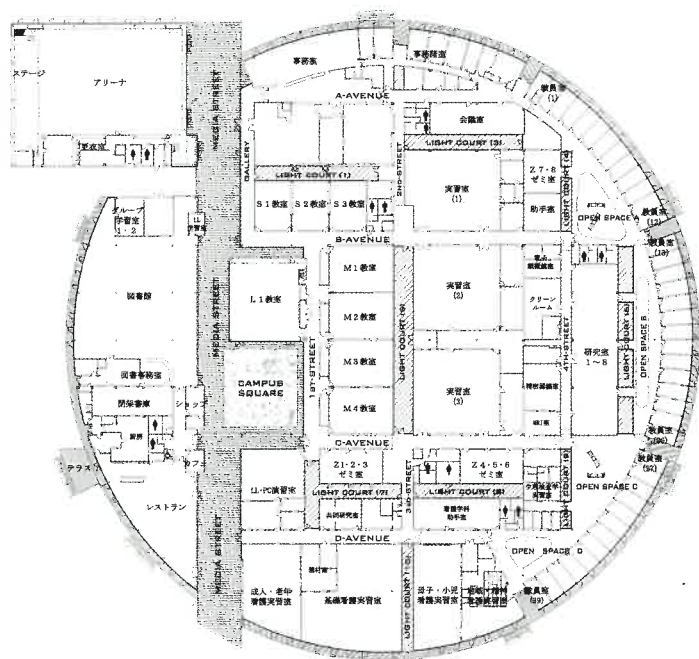


熊本保健科学大学

- 所在地 ■ 熊本市和泉325
- 竣工年月 ■ 平成14年4月
- 用途 ■ 大学
- 構造 ■ 鉄骨造
- 階数 ■ 地上1階(一部2階)
- 敷地面積 ■ 64,439.00㎡
- 建築面積 ■ 13,253.44㎡
- 延床面積 ■ 13,218.02㎡
- 事業主 ■ 学校法人銀杏学園
- 設計者 ■ 株式会社 佐藤総合計画
- 施工者 ■ りんかい日産建設株式会社

JR西里駅近くの、広々とした田園のなかに、熊本保健科学大学は直径132mの円形平面をもち平屋で建っている。建物は、メディア・ストリートと称した外部通路をはさんで校舎棟と図書館・食堂棟の2棟から構成され、校舎に一部くい込むように体育館が配置されている。明快な構成である。このメディア・ストリートに直交して、校舎内をアベニューと称する内部通路が走り、ところどころにライトコートがとられている。いわば、キャンパスをひとつの“街”と見立てた計画となっている。そして、その“街”のなかで、学生同士の、先生と学生の様々なコミュニケーションが発生することを設計者は期待している。平屋でまとめたこと、そして明快なゾーニング構成であること、さらにオリエンテーションが良いことなどから、その意図は充分達成していると同時に、新しい大学のあり方を示唆している点で高く評価してよいだろう。

(早川邦彦)





くまもとアートポリス
推進賞

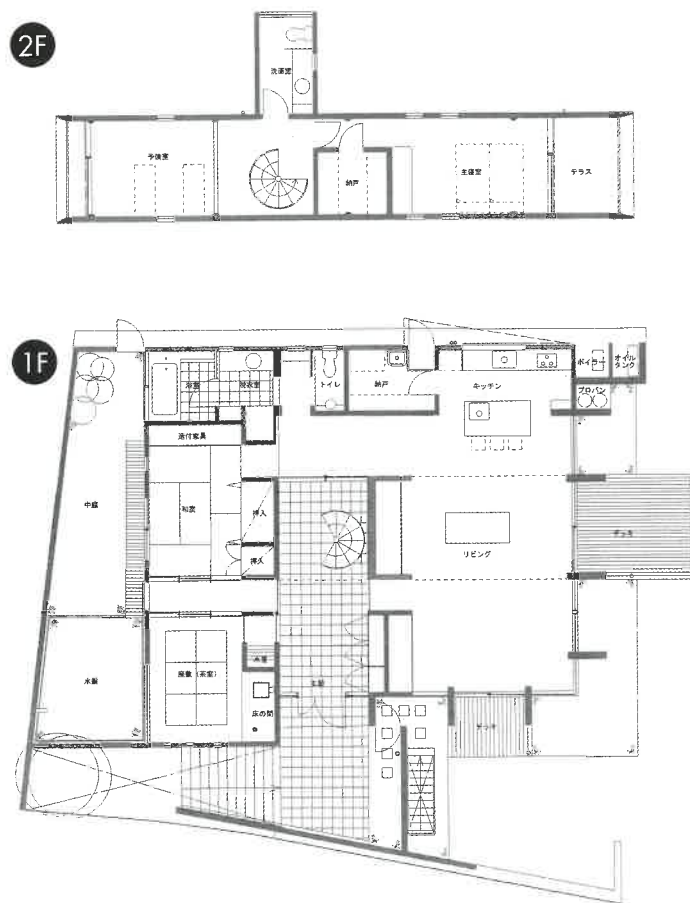


I-HOUSE

- 所在地 ■ 熊本市小糸山町
- 竣工年月 ■ 平成15年3月
- 用途 ■ 専用住宅
- 構造 ■ 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
- 階数 ■ 地上2階地下1階
- 敷地面積 ■ 396.74㎡
- 建築面積 ■ 208.73㎡
- 延床面積 ■ 241.02㎡
- 事業主 ■ 井手秀逸
- 設計者 ■ 横山俊祐+長野聖二・人間建築探険處
- 施工者 ■ 株式会社 三津野建設

いきなり現れた住宅は、かなり刺激的な形をしていた。ガラスBOX、コンクリートBOX、金属BOXの立体的な組み合わせは、明快なコンセプトを妥協なしに具現化した結果だろう。心配になるほどの開放感を持ったリビング(ガラス)、対照的な静けさに包み込まれた印象を持つ茶室と和室(コンクリート)。そして不思議な空間を作り出している寝室(金属)。邸内を見て回って、緊張感さえ覚えるような雰囲気は、住宅として若干の疑問も感じたが、住人である井手氏が、その緊張感も含めて楽しみながら使いこなしている様子で、問題にはならないと判断した。疑問と感じたことは、見方を変えれば、設計者と施主が共同で作りに出した、生活を楽しむための「仕掛け」なのだろう。各室内を見た後で、屋外に出て、再度、建物全体を眺めてみた。外観の力強い構成は、若い設計者の勢いのようにも感じられた。

(轟 多朗)



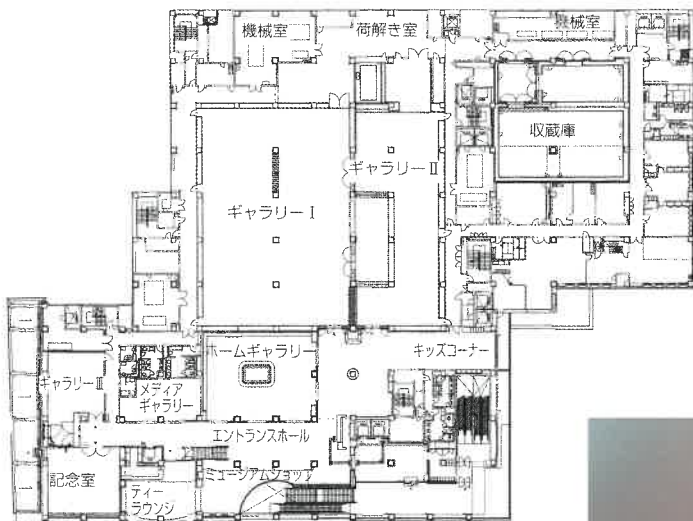
撮影：富重 清治





熊本市現代美術館

- 所在地 ■ 熊本市上通町2-3
- 竣工年月 ■ 平成14年3月
- 用途 ■ 美術館
- 構造 ■ 鉄骨鉄筋コンクリート造
- 階数 ■ 地上14階地下2階のうちの3階・4階・5階
- 延床面積 ■ 6,415.91㎡(美術館占有部分)
- 事業主 ■ 熊本市
- 設計者 ■ 株式会社 梓設計
- 施工者 ■ 鹿島・戸田・増永・多々良・勝本建設工事共同企業体



現代アートを市民に身近なものとする積極的な試みが、この計画では確かな成果を収めている事がうかがえる。

熊本市の中心市街地にあるという立地条件の良さを生かし、ホテル、ショッピング街と美術館が同一建築の中に組み込まれる複雑さを乗り越え、市民の都市生活に新鮮な世界を開いている。

夜8時までの開館時間の延長と入口に豊かな図書室空間をアート作品と共に設置した独創的な企画は、開館1年を経て、すっかり市民になじんでいる姿が見受けられた。

建築設計が固まった後に、こうした独創的な企画が挿入され、実現したことはキュレーション(美術館)側の強い意志と発注者、設計者側のフレキシブルな対応の結果と思われるが、現代美術というテーマを都市、市民としっかり結び付けた成果に対し、推進賞に値する計画と考える。今後の美術館のさらなる展開に期待するところである。

(岡部憲明)



くまもとアートポリス
推進賞選賞



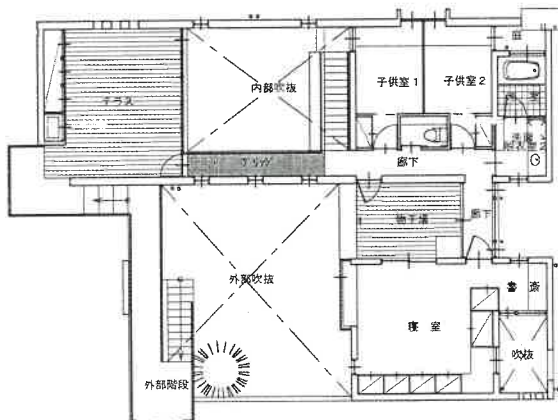
UEDA. Residence

所在地 ■ 熊本市水前寺
竣工年月 ■ 平成14年12月
用途 ■ 専用住宅
構造 ■ 鉄筋コンクリート造
階数 ■ 地上2階
敷地面積 ■ 267.08㎡
建築面積 ■ 166.82㎡
延床面積 ■ 196.72㎡
事業主 ■ 上田幸一、上田秀一
設計者 ■ 有限会社 森 繁・建築研究所
施工者 ■ 株式会社 山口工務店

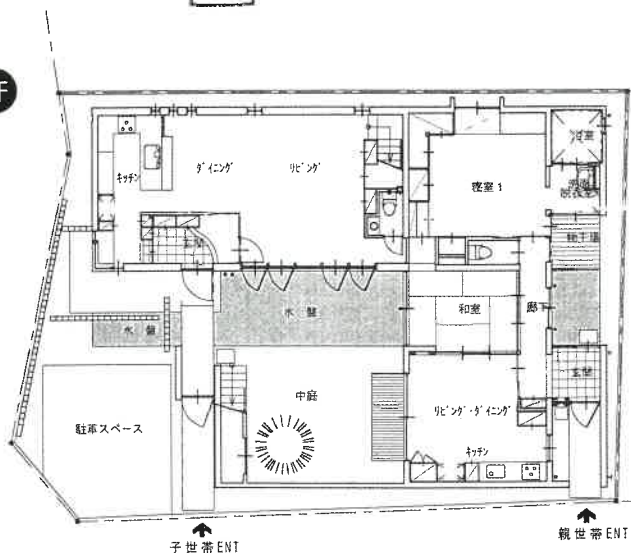
上田さんのお宅は県庁東隅の道路を隔てた向かい側、整備された戸建て住宅の並ぶ市街地にある。角地に建つので、敷地は県庁の大きな樹木と対比して明るい。2階建ての白い建築がそれを一層強めているようだ。老人、夫婦、子供2人、典型的な2世帯家族の都市型住宅である。中庭を隔てて2世帯の居場所が程よくまとまって気持ち良く、子供達は自由にそこを行き来できる。また繋ぐ動線は変化に富んで子供にとって楽し気だ。小さな庭を含め、家族の生活をより立てる空間構成を評価したい。拝見しながら、ふとアメリカの住宅雑誌を思い出した。その中に必ず建築家の設計になる住宅があり、他に比べて光を放っている。勿論値段も書いてあるのだが、そこにはライフスタイルの具体像が示されているから人の関心を惹くし、住んでみたいと思わせる。この町並みの中で周りとは規模を合わせながら、白い建築は光っている。家族を包む上田さんのお宅はこんな住宅建築である。

(渡辺定夫)

2F



1F



受賞作品一覧 くまもとアートポリス推進賞

2003年度 第9回



51 ■熊本保健科学大学
【熊本市】



52 ■I-HOUSE
【熊本市】



53 ■熊本市現代美術館
【熊本市】



54 ■UEDA. Residence
【熊本市】

2002年度 第8回



46 ■久野邸
【熊本市】



47 ■立田山野外保育センター
「雑草の森」
【熊本市】



48 ■八代の町屋
【八代市】



49 ■いのうえデンタルクリニック
【熊本市】



50 ■大野温泉センター
【声北郡声北町】

2001年度 第7回



39 ■荏原九州
【玉名郡南関町】



40 ■K.Residence
【熊本市】



41 ■つなぎ美術館
【芦北郡津奈木町】



42 ■梅田の舎
【熊本市】



43 ■ガレリアのある舎
【玉名市】



44 ■chase
【本渡市】



45 ■キューネット社員寮「希翔館」
【熊本市】

2000年度 第6回



32 ■やつしろハーモニーホール
【八代市】



33 ■城南の舎
【下益城郡城南町】



34 ■中央町福祉保健センター
「湯の香苑」
【下益城郡中央町】



35 ■ネクステージビル
【熊本市】



36 ■熊本YMCA
阿蘇キャンプメインホール
【阿蘇郡阿蘇町】



37 ■セカンドサイト
【熊本市】



38 ■霧の斎場
【球磨郡多良木町】

1999年度 第5回



25 ■水上村立湯山小学校
【球磨郡水上村】



26 ■中央町総合交流ターミナル
「石段の里 佐俣の湯」
【下益城郡中央町】



27 ■植柳新町公民館
（地域学習センター）
【八代市】



28 ■シルワ・エッセ
【熊本市】



29 ■50M-棟の森美術館
【阿蘇郡小国町】



30 ■宮崎耳鼻科
【熊本市】



31 ■矢野邸
【熊本市】

1998年度 第4回



18 ■老人保健施設 かみみ苑
【八代郡鏡町】



19 ■熊本県信用保証協会
八代支所
【八代市】



20 ■HOUSE:H-M
【球磨郡あさぎり町】



21 ■水俣市保健センター
水俣市総合もやいほしセンター
【水俣市】



22 ■古閑邸
【熊本市】



23 ■聖母の丘
【熊本市】



24 ■宮原町下宮はまどん公園
【八代郡宮原町】

1997年度 第3回



12 ■久連子古代の里
【八代郡泉村】



13 ■看護老人ホーム
八代市立保寿寮
【八代市】



14 ■水俣市宮洗切団地
【水俣市】



15 ■丸尾焼工房
【本渡市】



16 ■人吉の舎Ⅱ/平井邸
【人吉市】



17 ■浮島周辺水辺公園
【上益城郡嘉島町】

1996年度 第2回



9 ■慈愛園ノーマンホーム
【熊本市】



10 ■阿蘇白水温泉「瑠璃」
【阿蘇郡白水村】



11 ■ふるさとセンターY-BOX
【玉名郡横島町】

1995年度 第1回



1 ■小国町立西里小学校
【阿蘇郡小国町】



2 ■東陽村石匠館
【八代郡東陽村】



3 ■八代広域行政事務組合
消防本部庁舎
【八代市】



4 ■野田市兵衛商店
流通団地営業所
【熊本市】



5 ■清和物産館
（四季のふるさと）
【上益城郡清和村】



6 ■荒瀬ダムポートハウス
【八代郡坂本村】



7 ■出田眼科病院
【熊本市】



8 ■尚玄山荘
【玉名市】

■・・・くまもとアートポリス推進賞
■・・・くまもとアートポリス推進賞選賞

第9回くまもとアートポリス推進賞

■ 募集要項

■ 趣 旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市環境並びに建築文化等の向上を図るとともに、世界への文化情報発信地「熊本」を目指し、後世に残る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」を推進しています。この事業の目的を達成するため、コミッショナーが国の内外から推薦した設計者を参加事業主に紹介するプロジェクト事業や各種のイベント、広報活動を行っています。

さらに幅広く県民の皆様の御理解を深めていただくため、平成7年から「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を行っています。

この賞は、質の高い優れた建造物等を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と都市環境並びに建築文化等の向上を目指し、併せて豊かな地域づくりを図ることを目的としています。

■ 表彰対象

平成15年3月以前、概ね5年以内に施工(改造、改修、修復を含む)した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等(くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く)とします。

■ 選考基準

本賞の選考は、建造物等の企画、設計、施工、及び施設の利用について、次に示す評価のポイントをもとに総合的に評価します。

評価のポイント

- ① 優れたデザインが行われているもの
- ② 新しい技術的提案や工法の改善が行われているもの
- ③ 良好な施工が行われているもの
- ④ ひとや環境に優れた配慮がなされているもの
- ⑤ 施設の活用に創意工夫がみられるもの
- ⑥ 維持・管理が良好なもの
- ⑦ 地域づくりに寄与しているもの

■ 賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。

事業主(必要に応じて管理者を含む)、設計者及び施工者に知事が表彰状を贈ります。また、事業主に銘板を贈ります。

■ 応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

■ 選考委員会

岡部 憲明(岡部憲明アーキテクチャーネットワーク代表・神戸芸術工科大学教授)

轟 多朗(デザインドロキ代表・熊本県文化協会理事)

早川 邦彦(早川邦彦建築研究室代表)

星子 邦子(オフィスホシコ代表・消費生活コンサルタント)

堀内 清治(くまもとアートポリスアドバイザー・熊本大学名誉教授)

松下純一郎(熊本日日新聞社文化生活部次長兼論説委員)

渡辺 定夫(東京大学名誉教授)

■ 選考経過

募 集 平成15年8月1日～9月1日 応募件数34件

書類選考 平成15年9月29日

現地審査 平成15年10月25日～26日 現地審査件数7件

最終選考 平成15年10月26日 推進賞3件、推進賞選賞1件

表 彰 式 平成16年3月5日

熊本県

土木部建築課

〒862-8570

熊本水前寺6丁目18番1号

TEL. 096(383)1111(内線6215)

FAX. 096(384)9820

<http://www.artpolis.net/>

くまもとアートポリスのマーク



シンボルマークは3つの楕円と1つの小さな丸で構成されています。

3つの楕円は、左から順に「地球/世界」「くまもとアートポリス/熊本」「ひと/地域」が、互いにつながっていることをあらわします。

楕円の傾きは地球の地軸の傾き(太陽を中心とする公転軌道に対する地球の軸/南北軸の傾き)と同じ23.5度です。

シンボルマークは、くまもとアートポリスの目標「地域と対話、地球とネットワーク」に対応しています。くまもとアートポリスは、地域に生活する人々と対話しながら様々な建造物や環境を創造します。同時にこのような活動は、常に地球規模のネットワークとも繋がりが、世界的な環境への配慮や地域文化的な広がりをもっていることを示しています。

第9回

くまもとアートポリス推進賞 作品募集

趣 旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市環境並びに建築文化等の向上を図るとともに、世界への文化情報発信地「熊本」を目指し、後世に残る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」を推進しています。この事業の目的を達成するため、コミッショナーが国の内外から推薦した設計者を参加事業主に紹介するプロジェクト事業や各種のイベント、広報活動を行っています。

さらに幅広く県民の皆様の御理解を深めていただくため、平成7年から「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を行っています。

この賞は、質の高い優れた建造物等を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と都市環境並びに建築文化等の向上を目指し、併せて豊かな地域づくりを図ることを目的としています。

2002年度 第8回受賞作品

くまもとアートポリス推進賞



久野邸(熊本市)



立田山野外保育センター「雑草の森」(熊本市)



八代の町屋(八代市)

くまもとアートポリス推進賞選賞



いのうえデンタルクリニック(熊本市)



大野温泉センター(芦北郡芦北町)



募集要項

●表彰対象

平成15年3月以前、概ね5年以内に竣工(改造、改修、修復を含む)した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等(くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く)とします。

●選考基準

本賞の選考は、建造物等の企画、設計、施工及び施設の利用について、次に示す評価のポイントをもとに総合的に評価します。

評価のポイント

- ①優れたデザインが行われているもの
- ②新しい技術的提案や工法の改善が行われているもの
- ③良好な施工が行われているもの
- ④ひとや環境に優れた配慮がなされているもの
- ⑤施設の活用に創意工夫がみられるもの
- ⑥維持・管理が良好なもの
- ⑦地域づくりに寄与しているもの

●賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。

事業主(必要に応じて管理者を含む)、設計者及び施工者に知事が表彰状を贈ります。また、事業主に銘板を贈ります。

●募集期間

平成15年8月1日(金)から9月1日(月)まで
なお、郵送の場合は募集期間内の消印があり審査に間に合ったものを有効とします。

●応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

●応募方法

応募用紙(裏面)に必要事項を記入のうえ添付資料を添えて、熊本県土木部建築課アートポリス班まで提出してください。応募者は、あらかじめ事業主、設計者、施工者、管理者の了解を得てください。

●選考方法

提出された応募書類による書類選考で現地審査の対象として概ね10作品程度を選出し、現地審査を行った作品の応募書類と現地審査の結果により最終選考を行います。

●選考委員(50音順)

- 岡部憲明 (岡部憲明アーキテチャーネットワーク代表、神戸芸術工科大学教授)
轟多朗 (デザイナードロキ代表、熊本県文化協会理事)
早川邦彦 (早川邦彦建築研究室代表)
星子邦子 (オフィスホシコ代表、消費生活コンサルタント)
堀内清治 (くまもとアートポリスアドバイザー、熊本大学名誉教授)
松下純一郎 (熊本日日新聞社文化生活部次長兼論説委員)
渡辺定夫 (東京大学名誉教授)

●発表

平成15年11月(予定)、該当者及び全応募者に通知します。

●表彰

平成16年1月(予定)、表彰式を行います。

●その他

応募資料は返却しませんので、必要な場合はあらかじめ複写をお願いします。

提出先・問い合わせ先

熊本県土木部建築課アートポリス班 〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1
電話 096-383-1111 (内線6215・6230) ファックス 096-384-9820
メール kenchiku@pref.kumamoto.lg.jp

第9回 くまもとアートポリス推進賞応募用紙

(用紙は、このまま使用、又はコピー・スキャン等をして作成してください。)

応募者

【氏名・所属等】 【住所】

【電話】 【FAX】 【電子メール】

対象建造物等 (建築物以外については項目を適宜修正して記入してください)

【名称】 【用途】

【所在地】

【竣工年月】 年 月 【構造】 【階数】 地上 階、 地下 階

【敷地面積】 m² 【建築面積】 m² 【延べ面積】 m²

事業主

【会社名・氏名】 【住所】

【電話】 【FAX】

【電子メール】 【ホームページ】

設計者

【会社名・氏名】 【住所】

【電話】 【FAX】

【電子メール】 【ホームページ】

施工者

【会社名・氏名】 【住所】

【電話】 【FAX】

【電子メール】 【ホームページ】

管理者

【会社名・氏名】 【住所】

【電話】 【FAX】

【電子メール】 【ホームページ】

●以上の欄で記入しきれない場合は、この用紙をコピーして使用してください。その際、事業主等の区分は必要に応じて、設計者、施工者、管理者に修正されても構いません。

対象建造物の特色 (400字程度)

付近見取り図 (対象建造物等の位置がわかるもの。コピーを貼り付けても構いません。)



添付資料

図面と写真（外観・内観）をA3判の用紙4枚以内（用紙は横長使いとし、裏面の使用及び2枚以上をつなぎ合わせることは不可）にまとめてください。図面は、配置図・平面図・立面図・断面図等とし、縮尺を明記してください。